

# 都市浸水対策の効果事例(令和2年7月豪雨)

熊本県熊本市

- 坪井川第3排水区(流域面積182.1ha)は、低平地であるとともに流下先の坪井川が感潮河川であるため、満潮時には河川水位が上昇し、幹線水路からの排水が不能になり、25mm/h程度の降雨で浸水被害が発生する状況。  
※平成9年7月の降雨(時間最大降雨39mm)により浸水被害が発生。
- 熊本市は、**5年確率計画降雨60mm**に対応するため、「**坪井川第3排水区雨水調整池(52,000m<sup>3</sup>)**」を整備。
- 令和2年7月豪雨(時間最大降雨54mm)で効果を発揮し、**浸水被害の発生を防止**。

## 坪井川第3排水区雨水調整池の整備効果

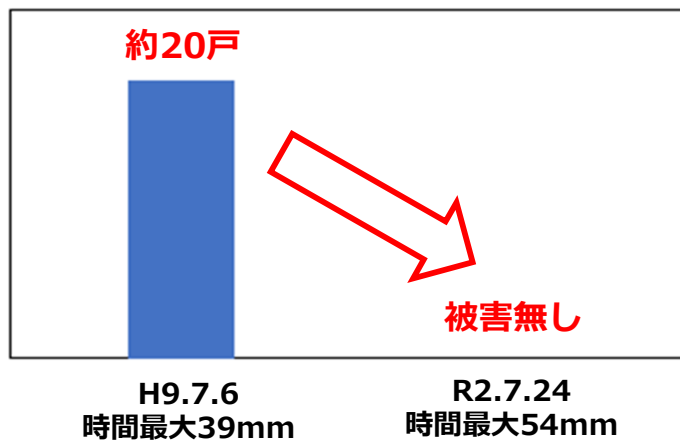
### ▼ 雨水調整池の整備



### ▼ 整備効果



浸水戸数



### 浸水対策の整備効果

雨水調整池の整備により、令和2年7月24日の降雨(時間最大54mm)において、浸水被害は発生しておらず、浸水対策の整備効果が得られた。